

研究課題名	悪性胸膜中皮腫 PDX model mouse における抗 CADM1 抗体 ADC 療法による腫瘍増殖抑制効果の検討
研究期間	実施許可日 ～ 2030年3月31日
研究の対象	2007年4月～2024年3月の間に広島大学病院原爆放射線医科学研究所腫瘍外科で悪性胸膜中皮腫もしくは悪性胸膜中皮腫疑いで手術による治療を受けられた方。
研究の目的・方法	研究目的：悪性胸膜中皮腫の患者において CADM1 の発現率を明らかにし、臨床病理学的背景や予後などと CADM1 発現との関連を検討することです 研究の方法：検査のために手術で採取された組織の残余分を使用して、免疫染色や Western blotting、qPCR 等で遺伝子・タンパク発現を確認し、診療録の情報を使用して統計学的解析を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、臨床/病理病期、喫煙歴、アスベスト暴露歴、病理学的検査結果、検討対象となる遺伝子形態の有無等、再発の有無、生存期間、遺伝子及びタンパク発現の結果、シフラ、CEA、治療法、再発部位 試料：手術で摘出した組織の凍結検体、パラフィン包埋組織
外部への試料・情報の提供	近畿大学医学部病理学講座へ試料を送付します。 本研究に関わる免疫染色、タンパク発現率の検査は近畿大学医学部病理学講座にて実施します。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日。
個人情報の保護	試料・情報を使用・提供する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工します。個人と連結させるための対応表は、本院の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	本学の研究責任者 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 腫瘍外科 教授 岡田 守人 研究機関の長 広島大学理事 田中 純子 研究代表者 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 腫瘍外科 教授 岡田 守人

	<p>共同研究機関 近畿大学病院 病理学講座 主任教授 伊藤 彰彦</p>
その他	<p>この研究のために集めた試料・情報は、将来この研究とは別の研究に利用させていただく可能性があります。これを「二次利用」といいます。二次利用の際には、あらためて倫理審査委員会にて審査し承認後、研究機関の長より許可を得たのち使用します。</p> <p>将来の研究に使用した場合は、その研究に関する情報を現在ご覧いただいているHP（人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開）https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspxにて開示し、データ使用の拒否権を行使できるようにします。</p>
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学 原爆放射線医科学研究所腫瘍外科 担当者：平井裕也、見前隆洋 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5476(外科外来)</p>